

1990年から続く一般対象の哲学入門講座です。
様々な角度から哲学・宗教・芸術・倫理などについて学びます。

平成28年度
西田幾多郎

哲 学 講 座

回	日時	内容	講師
①	4月30日【土】 午後1時30分	田辺元「死の哲学」とはどういう哲学か？	石川県立看護大学教授 西田哲学館館長 浅見 洋
②	5月21日【土】 午後1時30分	絶望と哲学 -西谷啓治の哲学的発足点-	明治大学教授 美濃部 仁
③	5月22日【日】 午前10時	人はどのようにして自分の生を肯定できるか -西谷とニーチェ、エックハルト、禅など-	
④	8月 6日【土】 午後1時30分	イスラームと国際社会 -歴史と現在-	元北陸大学教授 村上 良夫
⑤	9月10日【土】 午後1時30分	日本において仏教は、どのように受けとめられたのか -仏教説話集を手がかりとして-	駿河台大学教授 藤村安芸子
⑥	9月11日【日】 午前10時	出家を志す女君たち -『源氏物語』と仏教-	
⑦	10月 9日【日】 午後1時30分	ニアミスする明治の精神 西田幾多郎と夏目漱石 -東大本科と選科-	ライプツィヒ大学教授 小林 敏明
⑧	10月10日【月・祝】 午前10時	ニアミスする明治の精神 西田幾多郎と夏目漱石 -純粹経験と禅思想-	
⑨	10月22日【土】 午後1時30分	ギリシアにおける哲学者の誕生	東京大学教授 納富 信留
⑩	10月23日【日】 午前10時	日本人はギリシア哲学をどう読んできたか	

※午後の講座の開始時間が例年より早くなります。ご注意ください。



期 間 平成28年4月30日【土】～10月23日【日】(全10回)

会 場 石川県西田幾多郎記念哲学館

受講料 1回：500円、年間：2,000円

申込方法 住所・氏名(フリガナ)・電話番号を、葉書・電話・FAX・E-mailなどにて、右記までお申し込みください。申込は、随時受け付けております。
※個人情報は、当館主催事業または県民大学校に関する目的以外には使用しません。※石川県民大学校連携講座として、各回2単位として取得できます。必要な方は受付で学びカードをご提示ください。

お問い合わせ

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角 井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
E-mail: nishida-museum@city.kahoku.ishikawa.jp

講師、各講座のご紹介

浅見 洋 石川県立看護大学教授・西田哲学館館長

① 4月30日 [土] 午後1時30分

田辺元「死の哲学」とはどういう哲学か？

■講師、講座の紹介

西田幾多郎やその周辺の人々、石川県にゆかりのある思想家たちの足跡を具体的に分かりやすくお話いただける先生です。今回は、田辺元が構想した「死の哲学」がテーマ。田辺元は幾多郎が京都大学哲学講座の後継者として選んだ数理哲学の専門家でしたが、後に宗教論など様々なテーマについて論じました。浅見先生のもう一つのご専門である死生学の観点からもお話いただけると思います。

■専門分野

西田哲学、日本哲学史、死生学

■主な著書・論文

『思想のレイキエム 加賀・能登が生んだ哲学者 15人の奇跡』（春風社）

美濃部 仁 明治大学教授

② 5月21日 [土] 午後1時30分

絶望と哲学 - 西谷啓治の哲学的発見点 -

③ 5月22日 [日] 午前10時

人はどのようにして自分の生を肯定できるか

- 西谷とニーチェ、エックハルト、禅など -

■講師、講座の紹介

美濃部先生は昨年度にも講座を担当していただき、西田哲学を先生自身の言葉で大胆に噛み砕いてお話いただいて好評でした。今回は、近年、美濃部先生のゼミでも学生たちからの人気が高まっているという幾多郎の弟子、西谷啓治（能登町出身）がテーマ。西谷の哲学の出発点となったニヒリズムの問題を、彼がどうやって克服していったのか、そこにニーチェやエックハルト、さらに禅思想がどのようにかかわるのでしょうか。

■専門分野

フィヒテ哲学、西田哲学、禅、茶道

■主な著書・論文

『禅と京都哲学』（共著、燈影舎）

村上 良夫 元北陸大学教授

④ 8月6日 [土] 午後1時30分

イスラームと国際社会 - 歴史と現在 -

■講師、講座の紹介

西田幾多郎哲学講座にも何度かご登壇いただいて、評判の先生です。キリスト教がご専門ですが、イスラームや、政治の問題など、広い視野で宗教ということを捉えるアプローチが魅力です。昨今、ニュースなどでもイスラームという言葉がよく聴かれるようになりましたが、実際のところ、よく分からないと思っている人は多いはず。その歴史と現在の状況について分かりやすくお話いただけます。

■専門分野

キリスト教

■主な著書・論文

『聖書を読む - 国際文化理解のために』（玉川大学出版部）

藤村安芸子 駿河台大学教授

⑤ 9月10日 [土] 午後1時30分

日本において仏教は、どのように受けとめられたのか
- 仏教説話集を手がかりとして -

⑥ 9月11日 [日] 午前10時

出家を志す女君たち - 『源氏物語』と仏教 -

■講師、講座の紹介

仏教思想というと、道元や親鸞といった偉大な思想家がイメージされるかもしれませんが、その背後には仏教思想を受け容れて生きた多くの普通の人々がいました。仏教説話からは、そうした人々の仏教思想を知ることができます。一見、仏教とは関係がなさそうに見える『源氏物語』の中にも出家を志す女性たちが登場します。彼女たちは、どうして出家を志すのでしょうか。

■専門分野

日本仏教史、日本思想史

■主な著書・論文

『仏法僧とは何か『三宝絵』の思想世界』（講談社選書メチエ）

小林 敏明 ライブツィヒ大学教授

⑦ 10月9日 [日] 午後1時30分

ニアミスする明治の精神
西田幾多郎と夏目漱石 - 東大本科と選科 -

⑧ 10月10日 [月・祝] 午前10時

ニアミスする明治の精神
西田幾多郎と夏目漱石 - 純粹経験と禅思想 -

■講師、講座の紹介

小林先生はドイツで西田哲学をはじめとする日本哲学史を長年研究されています。今回は、今年没後100年に当たる夏目漱石と幾多郎のかかわりについてお話いただけます。帝大の本科で学ぶエリートの漱石、第四高等学校を中退したために選科生としてしか帝大に入れなかった幾多郎。帝大を舞台に繰り広げられた、こうした人生のニアミスとともに、二人の思想上のニアミスについてもお話いただけます。

■専門分野

哲学、精神病理学

■主な著書・論文

『西田哲学を開く 〈永遠の今〉をめぐる』(岩波現代文庫)

納富 信留 東京大学教授

⑨ 10月22日 [土] 午後1時30分

ギリシアにおける哲学者の誕生

⑩ 10月23日 [日] 午前10時

日本人はギリシア哲学をどう読んできたか

■講師、講座の紹介

哲学をはじめから勉強したい人のために毎年一回、哲学史を辿る時間を設けます。今年は「哲学者」が生まれた古代ギリシャ。プラトン哲学研究で今最も活躍されている納富先生にお越しいただきます。どうして「哲学」が生まれたのか、そして、幾多郎をはじめとする近代日本の哲学者たちはギリシャ哲学をどう読んできたのでしょうか。

■専門分野

ギリシャ哲学、受容史

■主な著書・論文

『プラトンとの哲学 - 対話篇をよむ』(岩波新書)